

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム名古屋熱田の家

作成日: 平成 31年 1月 25日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流の機会が少ない、地域密着型の施設におけるあり方とは	町内の方々と入居者の交流を促し、施設が地域資源として今まで以上に周囲に認識されるようになりたい	前年度の目標を継続して行う。町内行事への参加を月1回から2月に1回とする。以前園児の慰問を行って頂いた園と再び交流を図りたい	12ヶ月
2	4	より良いサービスの為、より多くのご家族との意見交換や関わりを持ちたい	緊急時の対応や虐待をテーマとした研修をご家族にも参加して頂く事で、更なる施設への理解や協力を繋げたい	講師を招いての勉強会の実施。またより多くのご家族が参加して頂けるよう、開催日の工夫や早期に計画を立てる	12ヶ月
3	6	今年度より身体拘束廃止未実施減算が新たに設けられた。要件を満たす事はもとより、更なるケアの質向上に努めたい	職員全体で身体拘束への正しい理解に努めると同時により良いケアを追及する。適正化の為にチームで取り組む事を基本とするがそれぞれの役割や責任の違いも理解する	身体拘束等の指針や身体拘束マニュアルの内容に沿った研修を年2回実施する。また3月に1回身体拘束適正化委員会を開催しその結果を周知徹底する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。